

第50回全協修養会開催

「自己の神性を豊かに回復する」主題に

八月十三日から十六日に
かけて、同志社びわこリ
ートセンターにて、第五
十回全国青年夏期修養会

(主催・青年会全国協議会、
後援・信徒委員会)が、「自
己の神性を豊かに回復する
―キリスト・イエスにあっ
て抱いているのと同じ
思いをあなたの方の
間でも互いに生かし
あいなさい」という主
題のもと行われた。記
念すべき第五十回目
の修養会として、参加
者も七十五名と近年
稀に見る多くの青年
が集まり、三泊四日を
過ごした。

はじめに開会礼拝
が行われ、信徒委員会
委員長である金性済
牧師から「イエスの
セーフティネット」
という題でメッセージ
をいただき、修養会

の幕が開いた。
一日目の晩に、全協発題
が呉多美代表委員から行な
われ、彼女自身が人生を通
して、また今年一年全協の
活動を通して感じたことか
ら、大きく三つの問いかけ
がなされた。一つ目は、多
様化している私たちの状況
から世界に向けて何を発信
したいのか。そこでは、今
日の私たち日韓の状況を
「多様化」と言うにとどま
らず、「多元化」と積極的に
表現していた。二つ目は、
今年度の主題・副題を聖書
に照らし合わせて、私たち
は一体何者でありたいと望
んでいるのかについて参加
者に問いかけ、アイデン
ティティには過去のルー
ツだけでなく未来の要素も含

まれることが話された。そ
して最後に、在日大韓基督
教会がキリスト教教会とし
て何を指し存在している
のか、その未来とビジョン
を確認したい、というもの
であった。これに関して発
題の中で、在日大韓基督
教会はマイノリティが集う
からマイノリティ教会ではな
く、マイノリティと共に立
つからこそマイノリティ教
会なのである、と強く述べ
ていた。

その後、分団が行われ
た。一日目の夜の交流会で
は、セミナー室が九時まで
しか使用できず、途中で電
気が消えるというハプニン
グもあったが、その後、十
畳ぐらいの狭い部屋で三十
人ほどの青年が集まり、熱
く語り深い交流ができた。

二日目には、朴寿吉総幹
事から挨拶をいただき、引
き続いて主題講演が行われ
た。講師には韓国基督教長
老会派遣宣教師の鄭淑子牧
師を招いて、今年度の全協



の主題に沿って講演してい
ただいた。「在日出身」であ
る鄭淑子牧師の生い立ちか
ら、なぜキリスト教に関
わったのか、そして、ある
宣教師との出会いから自分
自身のアイデンティティに
目覚めたこと、また、在日
として日本の中で差別され
た痛みや韓国の中で差別さ
れた痛みは他者の痛みを知
るために必要だったと語っ
てくださった。そして、全
協が主教会の中で闘って
いる同性愛者に対する差別
問題についても、全協がマ
イノリティと共に立つとい
う立場をとるという考えか
ら、「同性愛者と共に立つ
という立場を全面的に支持
する」と、とても励まされ
る講演をしてくださった。

午後、歴史オリエン
テリングやスポーツ大会
など、全員が楽しむ時間を
持ち、夜は水野阿修羅さん
(メンズセンター運営委員)
によるジェンダー・ワーク
ショップが行われた。一方
ジを信徒委員会が制作する
ことや、それを通して百周
年に向けての雰囲気作りを
行っていくことなどが提案
された。

全体討論では、各組織活
動報告と、「今後の課題」と
して①ニューカマーや日本
人など、多様な構成になっ
ている現在の在日大韓基督
教会における共生への意識
向上とその組織運営の在り
方はどうあるべきか、②グ
ローバリスムが進む中でK
CJの存在理由と在日大
韓基督教教会の名称がふさわ
しいかどうか、二十一世紀
に向けて検討してみてもど
うか、③第四十四回総会時
に機構改革が行われたが、
信徒委員会と地方会との関
係性を深めるため、各地方

的な講演形式ではなく、全
員が参加できる体験型学習
によるワークショップで、
負けるための「まげじゃん
けん」や、手を使わずに口
でする「くちじゃんけん」
などのゲームや、上を見
る、足の裏を見る、拳を握
る、足を組むなどの様々な
仕草を通して、私たちが普
段当たり前だと思ってい
る、男らしさや女らしさは
当たり前ではなく、環境や
教育によって作られたもの
であり、真の自分らしさと
はそこから脱することにあ
る、と教えてくださった。
三日目には、午前中に分
団発表を兼ねた全体討論が
行われ、午後からは韓国か
ら参加した貞洞教会の十一
名の青年たちより青年会の
活動報告が行われた後、全
協OPと共に八・一五礼拝
が行われた。

八・一五礼拝では、「解
放」を憶えると同時に、全
国青年夏期修養会五十年の
歴史を映像と音楽で振り
返った。青年たちは過去の
歴史を胸に刻み、私たちが
今立っている全協という場
所の歴史の深さ・重みを実
感し、全員が感動の渦に巻
き込まれ一体となり、涙が
溢れる瞬間となった。特に
朝鮮戦争が勃発し祖国分断
の只中にあっても修養会が
行われており、その参加者
の感想文が読み上げられた
時は胸に熱く込み上げるも
のがあった。

夕食後、全員で湖畔に移
動し、恒例のスタンツ(分
団対抗の演劇発表)と最後
の交流会が行われた。スタ
ンツでは短い時間の中でそ
れぞれの分団が話し合った
ことをうまく表現してい
た。中でも、韓国から参加
した貞洞教会の青年たちが
スタンツをすべて日本語で
行ったことには、とても驚
いた。彼らとは修養会を通
じて良い出会いができた。
交流会では、キャンプ・
ファイヤーの火を囲み、た
くさんの打ち上げ花火を合
図にブンムル隊がチャンダ
ンを打ち鳴らし、それに合
わせ全員が夢中で踊った。
最終日には、映画「GO」
を題材として、「国籍」や
「民族」とは一体何かとい
うことが話し合われた。全
体討論では、全協発題の中
の三つの問いかけを中心に
討論がなされた。

全協はこれから在日大韓
基督教教会の未来を担ってい
くものとして、泥をかぶっ
ていく存在になるべきでは
ないか。金性済牧師は、「A
とBという全く考え方の違
う人たちをまとめるにはC
という場所が必要だ。Cは
泥をかぶったり非難された
り大変かもしれないが全協
がこの先そのような場にな
って欲しい」と語った。

この「青年」という一時
を築きただけではなく、こ
の先、在日大韓基督教教会に
つながっていくためには自
分たちが辛い目に遭おうと
も、それを自分たちが望む
のであれば、いつか希望が
もてる在日大韓基督教教会
が存在するのではないかと、
という勇気を私たちに与えて
くれる修養会であった。

(報告・金直浩総務)

信徒委員会が合宿行う

「二十一世紀の私たちの宣教」をテーマに

二〇〇二年度第二回信徒
委員会が、七月二十六日か
ら二十七日まで、合宿形式

で東京教会箱根修養館にて
開催された。
信徒委員会の構成メン
バーは、金性済牧師を委員
長に、全国長老会・全国女
性会・青年会全国協議会の
各組織からの二名の委員で
構成されている。今回の委
員会は、この委員以外に六
名のオブザーバーを加え、
合計十三名の参加のもと行
われた。

今回の合宿では、テーマ
を「二十一世紀の私たちの
宣教―KCCJの宣教百周
年に向けて」と掲げ、「総会
の宣教課題」と題する講演

が朴寿吉総幹事よりあった
他、全国女性会より徐貞順
総務、青年会全国協議会よ
り金直浩総務、全国長老会
より李秀夫長老がそれぞれ
発題を担った。

また、第四十六回総会時
に行った水曜祈祷会の歴史
編纂ドラマ・メッセージを
もとに、金性済信徒委員長
と李相幹幹事がブレゼン
テーションを行い、各教
会や地方会からの要請を受
けて、貴重な歴史や、様々
な宣教の資料をもとにコン
ピューター・プロジェクト
タイルを利用したのメッセー

ジを信徒委員会と地方会との関
係性を深めるため、各地方

(報告・金信榮書記)

全国女性会研修会を開催

心のケアと教会女性の役割について学ぶ

六月二十五日から二十七
日まで、エクシブ琵琶湖に
おいて、昨年に引き続き
「二十一世紀を平和と分か
ち合いの世界に」を主題
日、エクシブ琵琶湖に
おいて、昨年に引き続き
「二十一世紀を平和と分か
ち合いの世界に」を主題

平和・愛・正義・希望を赤
白・青・緑の四色の布で表
現した印象的な礼拝がもた
れた。
一色牧師は、牧師とな
り、女性神学を研究する人
生の転機には、アジアや韓
国の信仰の姉妹との出会い
があったこと、当初確信が
持てなかった女性牧師とし
ての牧会の成功の要因が男
性依存型教会から脱皮し、
性依存型教会から脱皮し、
男女全員のキリストにお
ける自立的教会への転換に
よること、自尊感情を喪失
している女性をケアし、次
の人生のステップを準備す
る居場所としてのステップ
ハウスの現状などが素朴な
語り口で語られた。

四局長による発題では、
隣人の痛みを受け止め、共
有することの大切さ、まず

(報告・徐貞順牧師)



二〇〇二年度第二回信徒
委員会が、七月二十六日か
ら二十七日まで、合宿形式
で東京教会箱根修養館にて
開催された。
信徒委員会の構成メン
バーは、金性済牧師を委員
長に、全国長老会・全国女
性会・青年会全国協議会の
各組織からの二名の委員で
構成されている。今回の委
員会は、この委員以外に六
名のオブザーバーを加え、
合計十三名の参加のもと行
われた。

今回の合宿では、テーマ
を「二十一世紀の私たちの
宣教―KCCJの宣教百周
年に向けて」と掲げ、「総会
の宣教課題」と題する講演

が朴寿吉総幹事よりあった
他、全国女性会より徐貞順
総務、青年会全国協議会よ
り金直浩総務、全国長老会
より李秀夫長老がそれぞれ
発題を担った。

また、第四十六回総会時
に行った水曜祈祷会の歴史
編纂ドラマ・メッセージを
もとに、金性済信徒委員長
と李相幹幹事がブレゼン
テーションを行い、各教
会や地方会からの要請を受
けて、貴重な歴史や、様々
な宣教の資料をもとにコン
ピューター・プロジェクト
タイルを利用したのメッセー

ジを信徒委員会と地方会との関
係性を深めるため、各地方

(報告・金信榮書記)



六月二十五日から二十七
日まで、エクシブ琵琶湖に
おいて、昨年に引き続き
「二十一世紀を平和と分か
ち合いの世界に」を主題
日、エクシブ琵琶湖に
おいて、昨年に引き続き
「二十一世紀を平和と分か
ち合いの世界に」を主題

平和・愛・正義・希望を赤
白・青・緑の四色の布で表
現した印象的な礼拝がもた
れた。
一色牧師は、牧師とな
り、女性神学を研究する人
生の転機には、アジアや韓
国の信仰の姉妹との出会い
があったこと、当初確信が
持てなかった女性牧師とし
ての牧会の成功の要因が男
性依存型教会から脱皮し、
性依存型教会から脱皮し、
男女全員のキリストにお
ける自立的教会への転換に
よること、自尊感情を喪失
している女性をケアし、次
の人生のステップを準備す
る居場所としてのステップ
ハウスの現状などが素朴な
語り口で語られた。

四局長による発題では、
隣人の痛みを受け止め、共
有することの大切さ、まず

隣人の痛みを受け止め、共
有することの大切さ、まず

(報告・徐貞順牧師)

歴史コラム⑫

関東大震災と東京教会

李清一 (歴史編纂委員会)



写真:東京教会の礼拝堂があったYMCA会館跡地(1923年)

九月一日は、関東大震災とそれに引き続く起った大規模な朝鮮人虐殺事件として記憶されている。今年二〇〇二年は、その七十九周年目にあたる。

一九二三年九月一日正午、相模湾を震源とするマグニチュード七・九の大地震が関東地方を襲った。地震が原因で発生した火災により、東京・横浜の大部分は焼け野原となった。大混雑の中で、朝鮮人による放火・井戸への投毒の流言が生まれ、それがさらには朝鮮人虐殺の流言となつて急激に広がった。九月二日には東京付近に戒厳令がかけられ、軍隊が出動し、在郷軍人・青年団・消防組を中心に自警団が組織され、朝鮮人刈りがはじまった。虐殺された朝鮮人は六千人におよぶといわれている。

東京教会が礼拝堂として使用していた東京朝鮮基督教青年会館(現・日本韓国YMCA)も焼失し、東京教会は礼拝堂を求めて彷徨する時代が六年間続いた。当時の東京教会の牧師は、監理教から派遣されてきた呉基善牧師であった。呉牧師にとつては、一九一四年からの二年間に続いての二度目の赴任中での出来

を多くの貧しい人びとや病気を苦しんでいる人びとが実感し、自分たちこそが一番大事にされているということを肌で感じたのではないだろうか。だからこそ、彼らは癒されたのだと思ふ。

イエスが宣べた「御国の福音」とは何だろうか。イエスは、ガリラヤの伝道者の始めにあたり、「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言っている。これは、天の国がもうそこまで来ている、目前に迫っているという事です。だとすれば、イエスが宣べた「御国の福音」とは、法の下に基づく平等として現実の社会理念にそつた考えとしては正当なものであるが、キリスト者としては、今ひとつ物足りな

イエスは、すべての人を平等に扱ったわけではないのです。最も弱い人を最も大事にしたのです。そして、このことを実現すること、これが現実には、たいへん困難なことで、私たちは従わなければならないのです。なぜならば、このことが、イエス・キリストがガリラヤで実現し、今の私たちに示されている「御国の福音」に他ならないからです。

東京朝鮮YMCAに寄宿していた学生は、行く場所がなく困っていたが、青山学院神学部の寮に数週間滞在できるようになった。また、個人的に朝鮮人を自宅に招き入れたキリスト者もいた。翌年九月五日、賀川豊彦や小崎弘道らが発起人となり「朝鮮人及び中国人虐殺懺悔祈禱会」が東京基督教青年会で開催された。しかし、戦後、東京・横浜にある被災日本教会の個教会史の中で、関東大震災時における朝鮮人虐殺に触れているものは少ないように思われる。

今日の「防災の日」としての九月一日と、朝鮮人虐殺事件としてのそれは、歴史の出来事としての表裏である。どちらの視点で歴史をとらえるかが現在問われている。

九月一日は、関東大震災とそれに引き続く起った大規模な朝鮮人虐殺事件として記憶されている。今年二〇〇二年は、その七十九周年目にあたる。

一九二三年九月一日正午、相模湾を震源とするマグニチュード七・九の大地震が関東地方を襲った。地震が原因で発生した火災により、東京・横浜の大部分は焼け野原となった。大混雑の中で、朝鮮人による放火・井戸への投毒の流言が生まれ、それがさらには朝鮮人虐殺の流言となつて急激に広がった。九月二日には東京付近に戒厳令がかけられ、軍隊が出動し、在郷軍人・青年団・消防組を中心に自警団が組織され、朝鮮人刈りがはじまった。虐殺された朝鮮人は六千人におよぶといわれている。

東京教会が礼拝堂として使用していた東京朝鮮基督教青年会館(現・日本韓国YMCA)も焼失し、東京教会は礼拝堂を求めて彷徨する時代が六年間続いた。当時の東京教会の牧師は、監理教から派遣されてきた呉基善牧師であった。呉牧師にとつては、一九一四年からの二年間に続いての二度目の赴任中での出来

を多くの貧しい人びとや病気を苦しんでいる人びとが実感し、自分たちこそが一番大事にされているということを肌で感じたのではないだろうか。だからこそ、彼らは癒されたのだと思ふ。

イエスが宣べた「御国の福音」とは何だろうか。イエスは、ガリラヤの伝道者の始めにあたり、「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言っている。これは、天の国がもうそこまで来ている、目前に迫っているという事です。だとすれば、イエスが宣べた「御国の福音」とは、法の下に基づく平等として現実の社会理念にそつた考えとしては正当なものであるが、キリスト者としては、今ひとつ物足りな

イエスは、すべての人を平等に扱ったわけではないのです。最も弱い人を最も大事にしたのです。そして、このことを実現すること、これが現実には、たいへん困難なことで、私たちは従わなければならないのです。なぜならば、このことが、イエス・キリストがガリラヤで実現し、今の私たちに示されている「御国の福音」に他ならないからです。

東京朝鮮YMCAに寄宿していた学生は、行く場所がなく困っていたが、青山学院神学部の寮に数週間滞在できるようになった。また、個人的に朝鮮人を自宅に招き入れたキリスト者もいた。翌年九月五日、賀川豊彦や小崎弘道らが発起人となり「朝鮮人及び中国人虐殺懺悔祈禱会」が東京基督教青年会で開催された。しかし、戦後、東京・横浜にある被災日本教会の個教会史の中で、関東大震災時における朝鮮人虐殺に触れているものは少ないように思われる。

今日の「防災の日」としての九月一日と、朝鮮人虐殺事件としてのそれは、歴史の出来事としての表裏である。どちらの視点で歴史をとらえるかが現在問われている。

説教



「人権主日」

御国の福音

— マタイ4:23-25 —

洪領晃 牧師 (一宮伝道所)



「イエスはガリラヤ中を回つて、諸会堂で教え、御国の福音を述べ伝え、また、民衆のありとあらゆる病氣や患いをいやされた」とあります。ユダヤの歴史家ヨセフスは、当時のガリラヤがたいへん肥沃な土地であると同時に、そこに住む大半の人びとは借地人であり、小作農であった、と記しています。また、後代の記録によると、ガリラヤ人は無知な田舎者で、律法を守らず、良いユダヤ人ではなかったとあります。これを裏書するように、ヨハネ一章四節では、ナタナエルが「ナザレから何か良いものが出るだろうか」と述べています。

けれども、最近の研究に

よれば、ガリラヤ人は、エルサレムとその神殿に強い愛着を持っていたとされています。ルカ二章四十一節では、イエスの両親が、毎年過ぎ越しの祭りに、エルサレムに旅をしていたことが記されています。このように、ガリラヤの人びとは、非常に貧しい小作農として年貢に苦しみ、そしてエルサレムの人びとは蔑まれながらも、よりユダヤ人になりきろうとして、毎年の過ぎ越しの巡礼を、貧しい生活の中でも行なっていたということがいえないでしょうか。

けれども、そのような社会は、たいへん歪な社会と

言わざるを得ません。24節

不治の病であったとして

そのようなガリラヤにおいて、イエスは「御国の福音を宣べ伝え、多くの病氣や患いをいやされた」と記しています。「いやす」とは、ど

ういうことでしょうか。単に病氣を治療して、健康な状態に回復させるということならば、それは、病氣を治すことであり、その主役は、治す技術であり、薬であり、自身の回復力です。極端なことを言えば、不治の病であったとして

当時のガリラヤが、貧しい人びとがさらに病氣となつて差別されてゆく社会とするならば、イエスがガリラヤ中を回つて行なつた宣教は、それとはまったく正反対のものでした。弱い者がさらに弱者をたたくのではなく、一番弱い者が一番大事にされる、そのような社会をイエスは、その宣教において実現したのです。そして、そのこと

25節には、「大勢の群衆が来てイエスに従つた」とあります。イエスの行なつた宣教活動に、多くの人びとが大事にされる社会になつてしまふからです。

私たちは、人権というものを、とすると社会運動とか慈善活動と考えて、福音と分けてしまいがちです。けれども、そのような考え方は、法の下に基づく平等として現実の社会理念にそつた考えとしては正当なものであるが、キリスト者としては、今ひとつ物足りな

イエスは、すべての人を平等に扱ったわけではないのです。最も弱い人を最も大事にしたのです。そして、このことを実現すること、これが現実には、たいへん困難なことで、私たちは従わなければならないのです。なぜならば、このことが、イエス・キリストがガリラヤで実現し、今の私たちに示されている「御国の福音」に他ならないからです。

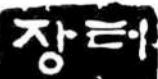
『在日大韓基督教会 宣教90周年記念誌』刊行

- 78の個教会・伝道所の歩み
- 5地方会の歴史
- 青年会・女性会の歴史
- 宣教90年の歴史年表 (口絵7ページ/本文438ページ)
- 定価●4500円(送料含む)

◆お申し込みは、各教会に。

総幹事活動日誌

- 会議・集会
- 平和統一と宣教に関する会議の開催
- 日時：8月1日
- 場所：東京韓国YMCA
- 特別対策委員会(大神側)
- 日時：8月8日
- 場所：大阪教会
- 全国青年夏季修養会
- 日時：8月13日、16日
- 場所：同志社琵琶湖リゾートセンター
- 主題：自己の神性を豊かに回復する
- 総会役員会
- 日時：8月16日
- 場所：大阪教会
- 日本基督教団の在日・日韓連帯特別委員会主催公開シンポジウム
- 日時：8月19日
- 場所：日基督教団会議室
- 内容：私たちの責任、在日・日韓連帯の歩み、罪責告白からみた教団の課題。今日の在日・日韓連帯について、課題と展望
- 日本キリスト教会との実務者会議
- 日時：8月26日
- 場所：総会事務局



韓国食品・書籍・CD・ビデオ

(株)韓国広場

新宿店：東京都新宿区大久保1-17-7
TEL (03) 3232-5400
FAX (03) 3200-2949

代表取締役 金根熙

不動産業務全般

免許番号・愛知県知事③第5426番

太栄企業株式会社

代表取締役 金光洙 (名古屋教会 長老)

事務所 名古屋市中熱田区川並町2番21号
(名古屋市中中央卸売市場入口南側太栄ビル)
電話 052(682)1177(代)
自宅 名古屋市中千種区御影町2-55-5

株式会社 ニューキング 愛

取締役社長 李鍾善 (名古屋教会 長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)
三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

西部女性会

一日研修会を開催

講師に滝元明牧師を迎え

西部地方教会女性連合会 月二十一日、神戸東部教会の特別講堂の後、全日本リバイバルミッションの主幹である滝元明牧師(新域教会)を講師に迎え、「あなたの足のくつを脱げ」(出エジプト3:11-15)という題目で言葉のいたいた。神の御前で「くつを脱ぐ」という行為は、神の御前で自分の罪や弱さを全てさらけ出して、自分の人生と全存在を神に預けることであるということを、今回の講師のメッセージで教えられた。

もと、神戸東部教会女性会の特別講堂の後、全日本リバイバルミッションの主幹である滝元明牧師(新域教会)を講師に迎え、「あなたの足のくつを脱げ」(出エジプト3:11-15)という題目で言葉のいたいた。神の御前で「くつを脱ぐ」という行為は、神の御前で自分の罪や弱さを全てさらけ出して、自分の人生と全存在を神に預けることであるということを、今回の講師のメッセージで教えられた。



本場に神に全権を委ねて、自らを神のものとして捧げつくした時、神は必ずその答えをくださる方であることを、講師自身の体験を証しながら熱く語ってくださいました。

日本 사랑 伝道所 加入式 및 金在一牧師委任式 挙行



지난 七月十四日(主日)午後四時、日本 사랑 伝道所加入式과 金在一牧師의委任式이 関西地方教会主権로 教役者及 聖徒 約五十名이 参加한 가운데 盛大하게 挙行되었다. 加入式 및 委任式은 地方教会의 伝道部長 金安弘牧師의 司會로 시작되어 金鍾賢牧師의 祈禱가 있는 후 盤石위에

세워진 教会라는 題目으로 地方教会 副會長인 孫一球牧師가 説教했다. 이어 서 地方會長인 金武士牧師의 司式으로 加入式 및 委任式이 이루어졌고 委任한 牧師에게 總會長 李炳球牧師、教人에게 地方會副書記인 鄭然元牧師의 勸勉이 있었다. 祝辭에는 地方會를 대표하여 地方會書記인 朴珍列牧師、地域教會를 대표하여 咸光玉牧師(大阪中央浸礼教会)、朴昇熙牧師(御国教会)가 順序를 担当하였다. 이날 特別 献金順序를 갖고 韓国仁川

(報告: 金鍾賢牧師)

外基法制定の集会開かる

講師に李仁夏牧師迎え、名古屋教会で

八月十一日、名古屋教会 共同祈禱文が読み上げられ、洪領見牧師による「ヤコブの決断」(創世記32:7-8)と題する説教があった。

第二部においては、李仁夏牧師の「今、在日をどう生きるか」キリスト者の立場から」と題する講演があった。李仁夏牧師の講演からは、少年期からの体験を通して、「国家権力と個人」という視点において大事な示唆が与えられた。

外国人住民基本法の制定に向けた取り組みは、日本人と外国人が共に暮らすことのできる社会、誰もが人格を蹂躪されることのない社会を目指すものであり、

第一部の礼拝では、金鍾桂吳牧師から、それぞれ外国人住民とその子どもたち

の現状についてのアピールがあった。

李仁夏牧師の講演からは、少年期からの体験を通して、「国家権力と個人」という視点において大事な示唆が与えられた。

外国人住民基本法の制定に向けた取り組みは、日本人と外国人が共に暮らすことのできる社会、誰もが人格を蹂躪されることのない社会を目指すものであり、

第一部の礼拝では、金鍾桂吳牧師から、それぞれ外国人住民とその子どもたち

の現状についてのアピールがあった。

李仁夏牧師の講演からは、少年期からの体験を通して、「国家権力と個人」という視点において大事な示唆が与えられた。

外国人住民基本法の制定に向けた取り組みは、日本人と外国人が共に暮らすことのできる社会、誰もが人格を蹂躪されることのない社会を目指すものであり、

第一部の礼拝では、金鍾桂吳牧師から、それぞれ外国人住民とその子どもたち

の現状についてのアピールがあった。

李仁夏牧師の講演からは、少年期からの体験を通して、「国家権力と個人」という視点において大事な示唆が与えられた。

外国人住民基本法の制定に向けた取り組みは、日本人と外国人が共に暮らすことのできる社会、誰もが人格を蹂躪されることのない社会を目指すものであり、

第一部の礼拝では、金鍾桂吳牧師から、それぞれ外国人住民とその子どもたち

の現状についてのアピールがあった。

李仁夏牧師の講演からは、少年期からの体験を通して、「国家権力と個人」という視点において大事な示唆が与えられた。

外国人住民基本法の制定に向けた取り組みは、日本人と外国人が共に暮らすことのできる社会、誰もが人格を蹂躪されることのない社会を目指すものであり、

第一部の礼拝では、金鍾桂吳牧師から、それぞれ外国人住民とその子どもたち

(報告: 洪領見牧師)



世界メソジスト教会青年大会編

李 正 子 (青年会全国協議会)

KCCJ青年会全国協議会(全協)からの代表として、私は、七月十五日から八月五日まで、日ケジュールを大きく分け

ると、世界メソジスト教会の青年大会(四年に一度)の参加とテゼ共同訪問という構成であった。まず、世界メソジスト教会青年大会(KCCJ)の報告から始めたい。

ICYCは、七月十六日から二十二日までの一週間、イギリス領北アイルランドのウルスター大学に、世界約四十カ国の約四百名の青年が集まって行われた。今回のテーマは、「キリスト・イエス・神の道」であり、それに従った小テマが毎日の課題として与えられていた。午前中は、小さな礼拝と聖書研究、そしてそれを受けての分団。午後は自由時間と二つの講義(平和、CS、信仰と実践などのテーマから選択)。夕

から二十二日までの一週間、イギリス領北アイルランドのウルスター大学に、世界約四十カ国の約四百名の青年が集まって行われた。今回のテーマは、「キリスト・イエス・神の道」であり、それに従った小テマが毎日の課題として与えられていた。午前中は、小さな礼拝と聖書研究、そしてそれを受けての分団。午後は自由時間と二つの講義(平和、CS、信仰と実践などのテーマから選択)。夕

から二十二日までの一週間、イギリス領北アイルランドのウルスター大学に、世界約四十カ国の約四百名の青年が集まって行われた。今回のテーマは、「キリスト・イエス・神の道」であり、それに従った小テマが毎日の課題として与えられていた。午前中は、小さな礼拝と聖書研究、そしてそれを受けての分団。午後は自由時間と二つの講義(平和、CS、信仰と実践などのテーマから選択)。夕

から二十二日までの一週間、イギリス領北アイルランドのウルスター大学に、世界約四十カ国の約四百名の青年が集まって行われた。今回のテーマは、「キリスト・イエス・神の道」であり、それに従った小テマが毎日の課題として与えられていた。午前中は、小さな礼拝と聖書研究、そしてそれを受けての分団。午後は自由時間と二つの講義(平和、CS、信仰と実践などのテーマから選択)。夕

から二十二日までの一週間、イギリス領北アイルランドのウルスター大学に、世界約四十カ国の約四百名の青年が集まって行われた。今回のテーマは、「キリスト・イエス・神の道」であり、それに従った小テマが毎日の課題として与えられていた。午前中は、小さな礼拝と聖書研究、そしてそれを受けての分団。午後は自由時間と二つの講義(平和、CS、信仰と実践などのテーマから選択)。夕

から二十二日までの一週間、イギリス領北アイルランドのウルスター大学に、世界約四十カ国の約四百名の青年が集まって行われた。今回のテーマは、「キリスト・イエス・神の道」であり、それに従った小テマが毎日の課題として与えられていた。午前中は、小さな礼拝と聖書研究、そしてそれを受けての分団。午後は自由時間と二つの講義(平和、CS、信仰と実践などのテーマから選択)。夕

から二十二日までの一週間、イギリス領北アイルランドのウルスター大学に、世界約四十カ国の約四百名の青年が集まって行われた。今回のテーマは、「キリスト・イエス・神の道」であり、それに従った小テマが毎日の課題として与えられていた。午前中は、小さな礼拝と聖書研究、そしてそれを受けての分団。午後は自由時間と二つの講義(平和、CS、信仰と実践などのテーマから選択)。夕

から二十二日までの一週間、イギリス領北アイルランドのウルスター大学に、世界約四十カ国の約四百名の青年が集まって行われた。今回のテーマは、「キリスト・イエス・神の道」であり、それに従った小テマが毎日の課題として与えられていた。午前中は、小さな礼拝と聖書研究、そしてそれを受けての分団。午後は自由時間と二つの講義(平和、CS、信仰と実践などのテーマから選択)。夕



次代を担う子どもたちが未来に希望をもつためにも、今後さらに多くの人びとが参加と粘り強い取り組みが求められる。

食後は、地域ごとに準備した礼拝をもち、特に最後の夜には聖餐式が行われた。地域ごとの礼拝の時に私が求められたことは、日本における在日の状況を、KCCJの歴史と宣教理念に基づいて証しをすることだった。日本の植民地支配下における誕生、日本におけるマイノリティとしての人権運動の歴史、今日の在日の状況、KCCJのビジョン、という内容で(し

ジョン、という内容で(しかも英語で!)、約十分ほどの証しをした。証しをする、様々な人からの反応があり、KCCJのビジョンを共にする世界の同志の存在を実感した。

正直なところ、大会の雰囲気などから、証しの内容に納得がいけない人が多いだろうと思っていたので、喜びはひとしおだった。また、ミャンマーの青年は、国内の民主化のためにキリスト者青年が闘っていることを語り(まるで八〇年代

の韓国のような)った、そのことが大会内で大きな賛意を得た時は、まさに神の国を見る思いだった。

一つ残念だったのは、世界各国の青年がキリスト教の名のもとに集まってきたとはいえ、結局はアメリカ合衆国からの参加者が大部分であり、彼らが大会をリードした点だ。せっかく北アイルランドという地で

行われたのに、主催地の青年はほとんどいなかった。このことは、言語の面だけでなく、礼拝の形式、プログラムの持ち方、スタッフなどにおいて、どうしようもなく存在する「アメリカ中心主義」として表れた。

彼らが「USA」というブランドを捨てず、そこから生じる優越感や排他主義に気づかないなら、それを待たない人びとと真の意味で共にあることは困難だ。持つ側が持たない側に立つということがいかに難しいかを改めて考えさせられた。

韓日讃頌歌

—第6版(韓・日併記新版)—

102

주 예수보다 더 귀한 것은 없네

キリストにはかえられません

Mrs. R. F. Miller, 1925

「もしも主を愛するならば、あなたに代わります。」

12.11.10.10 G. R. Shea (1909-7)



◆お申込は、地方会に。

CORAL WATER (珊瑚の水)

ミネラルウォーター、カルシウム
冷温水機直輸入
冷温水をワンタッチで便利に。

(有) I.C.C. 東京

代表 表 京 先
(東京ベテスダ教会 執事)

〒123-0845 東京都足立区西新井本町5-4-9
TEL 03-3880-3159 FAX 03-3880-4404

愛三グループ

愛三産業株式会社
済州カントリー倶楽部

代表取締役社長 白 一 善

本社 東京都墨田区江東橋4-6-4 TEL (03) 3633-7477(代)
済州C・C 韓国済州市寧坪洞2238-2 TEL (064) 702-0451(代)
ソウル事務所 韓国ソウル特別市鐘路区内需洞167 TEL (02) 739-3327(代)

「日韓在日ティーンズ合同平和キャンプ」が開催

平和キャンプ」が開催

八月十七日から二十二日にかけての五日六日間、福岡県北九州市小倉・筑豊において、「日韓在日ティーンズ合同平和キャンプ」がもたれた。これは、日本キリスト教協議会教育部と大韓基督教教育協会が主催、日本の植民地下、朝鮮から



南北基督教代表が分断後 서울에서 初相逢

分断後 서울에서 初相逢

지난 八月十五日、十六日 兩日間 祖国の平和統一大会が民族共同の統一行事로 서울에서開催되었다。이는分断後 처음으로南北統一의八・一五를統一의八・一五로統一希望을가지면서南과北이 만나서貴族한 자리였다고 볼 수 있다。

이번 八・一五民族大会에北側에서 서울을訪問한代表團의人員은總百十六名으로民間級行事에參加하는代表團으로서는史上 最大規模였다。이번代表團 가운데朝鮮 그리스도教連盟의委員長인康永燮牧師가參席하였다는事で、若い世代の在日・日韓のティーンズの交流と平和學習を目的としたプログラムである。二年前に一回目がもたれ、第二回目の今回は「日韓在日のティーンズが北九州に集まって、主眼は「平和の実現をめ

外国人が暮らしやすい社会は日本人にも暮らしやすい！

「外国人住民基本法」の制定を求める全国キャンペーン・2002」

●8月11日(日) 15:00~17:00 ●名古屋
＜講演＞李仁夏さん ＜会場＞在日大韓基督教教会名古屋教会

●9月16日(月) 10:30~15:00 ●東京
「多文化を歩く、食べる in コリア・タウン：大久保」
○10:30 JR新大久保駅集合→高麗博物館→ハンサラン教会

●9月 ●宮崎
＜会場＞日本基督教団宮崎教会

●10月12日(土)~13日(日) ●横浜
「横浜国際協力まつり 2002」にブース展示とセミナー開催

●10月27日(日) 16:00~18:00 ●福岡
＜会場＞在日大韓基督教教会福岡教会

●10月27日(日) 13:00~16:30 ●大阪「国際協力の日：2002」
○特設舞台での歌・踊り、各国料理の屋台
＜会場＞越中公園

●11月15日(金) 18:30~20:30 ●札幌
＜講演＞千相鉉さん ＜詩の朗読＞金時江さん
＜会場＞日本聖公会札幌キリスト教会

●11月24日(日) 15:00~17:30 ●広島
＜講演＞足立修一さん(弁護士)
＜会場＞日本バプテスト連盟広島基督教教会

●11月 ●大分
＜会場＞日本基督教団湯布院教会

＜共催＞外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会／各地外キ連／在日大韓基督教教会宣教奉仕委員会社会部など外キ協加盟教派・団体関係委員会 ＜連絡先＞RAIK

で、参加者は韓国から三名(高校生二、中学生二)の男子、日本から三名(高校生二、中学生二)の男子、在日から五名(高校生四、中学生一)の女子、計十一名のティーンズとスタッフ五名であった。スタッフ五名のうち在日大韓基督教教会からは二名(呉寿恵教育主事、許伯基伝道師)が参加した。

プログラムの内容は、第一日目の日曜日、在日大韓基督教教会の礼拝に出席し、午後から交わりのひと時をもった。ユンノリ大会が彼らに火をつけ、以後、毎晩ティーンズたちはユンノリで盛り上がった。「強制連行の跡をたどる旅」は、二日間を費やして小田山墓地、永生園(小倉教会納骨堂、謝恩碑、ムグンファ堂、筑豊では田川石炭資料館、アリラン文庫、韓国人徴用犠牲者慰霊碑、坑口、豊州水没事故犠牲者

「日韓在日ティーンズ合同平和キャンプ」参加感想文

「知らなければならぬこと」

安藤 未希 (名古屋教会／高校一年生)

私が今回のキャンプで思ったのは、日本人として恥ずかしい、そして、韓国の人としての日本人への怒りです。今まで韓国人のほうの気持ちが強くて、日本人を嫌おうと思っていたし、いつまでも韓国に対して、さげすみとした謝りの気持ちを示さない日本人を、本当にいやだと思っていた。でも、私の半分は日本人で、日本人の友だちや家族もいるので、嫌おう、嫌おうと思っても、どこか嫌えきれないところもありました。

今回、色々な場所を見て、戦争で韓国人を殺して慰霊碑、日向墓地などを現地訪問した。

旅を終えた夜は、八家族の協力のもと一泊ホームステイを実行した。韓国籍のティーンズは日本人の家、日本籍のティーンズは在日の家へと振り分け、それぞれが実りある経験をした。

そして最後の日は、豊臣秀吉の朝鮮侵略の拠点となつた名護屋城跡(佐賀県)の見学でしめくくった。

この間、大養光博牧師(日本基督教団福岡伝道所)と朱文洪牧師(小倉教会)の献身的な協力のもと、このプログラムを実現することができた。とくに大養牧師は現場研修の二日間と名護屋城跡見学の一日の丸々三日間を私たちと共に過ごして案内をしてくださった。

ティーンズたちも、それぞれが感動と感慨を胸に秘めて、再会を約束して解散した。

成果というものはすぐには現れるものではない。私たちは種を蒔き、その実を刈り取るのは主であるから、すべてを主に委ね、長い目で彼らの成長を祈りつつ見守っていきたい。

(報告：呉寿恵教育主事)

今、韓国の私と同世代の人でも日本を嫌っている人が多いと、一緒にホームステイした韓国のお姉さんからお聞きしました。でも、私はみんな夜にユンノリで遊んだように、日本人も韓国人もお互いを嫌い合わないで、戦争で韓国人を殺して慰霊碑、日向墓地などを現地訪問した。

今、韓国の私と同世代の人でも日本を嫌っている人が多いと、一緒にホームステイした韓国のお姉さんからお聞きしました。でも、私はみんな夜にユンノリで遊んだように、日本人も韓国人もお互いを嫌い合わないで、戦争で韓国人を殺して慰霊碑、日向墓地などを現地訪問した。

今、韓国の私と同世代の人でも日本を嫌っている人が多いと、一緒にホームステイした韓国のお姉さんからお聞きしました。でも、私はみんな夜にユンノリで遊んだように、日本人も韓国人もお互いを嫌い合わないで、戦争で韓国人を殺して慰霊碑、日向墓地などを現地訪問した。

海外旅行はマイカーで
自宅⇄空港の移動は絶対オススメします

有限会社 聖 永 商事
免税店 聖 永 商事
関西国際空港駐車場
デリバリーパーキング関空
VIPカーデリバリ関空

会 長 禹 永 吉(関空伝道所 長老)
代表取締役社長 禹 辰 磨(関空伝道所)

本社：〒598-0045 大阪府泉佐野市松原2-5-6
TEL.0724-64-3719 FAX.0724-64-3503
フリーダイヤル：0120-69-0775
E-mail：seiei@startpage.co.jp

医療法人
おりお心クリニック

診療科目：神経科・精神科・心療内科

理事長・院長 金 長 壽
(福岡中央教会 長老)

〒807-0825 北九州市八幡西区折尾4丁目2-8
(JR折尾駅西口横)

TEL. 093-603-3280
FAX. 093-603-7985

白承豪法律事務所

弁護士 白 承 豪
(神戸教会執事)

〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通2-4-4
ブックローン神戸ビル3階
TEL (078) 341-6348
FAX (078) 341-6342
E-mail：baek@bg.mbn.or.jp